

## 7月臨時議会

平成22年第5回臨時議会が7月26日に開かれました。上程された議案は2件で、原案のとおりすべて可決されました。

### 上程された議案

#### ◇物品の取得について

ロータリー除雪車(2・6m級)1台を購入することについて、議会の議決を得たものです。  
一 契約の方法  
指名競争入札

一 契約の金額
22,281,000円

一 契約の相手方  
横手市駅前町7番30号  
打川自動車株式会社  
代表取締役 打川 敦

#### ◇平成22年度にかほ市一般会計 補正予算(第2号)

コミュニティバス釜ヶ台線の増便に伴う委託費164万6千円(詳細は下のとおり)や、住宅リフォーム支援事業補助金1、500万円など、歳入歳出とも1,704万5千円を追加補正したものです。

7月27日から  
往復4便から5便に

## コミュニティバス釜ヶ台線



### ●釜ヶ台行き (増便が赤字)

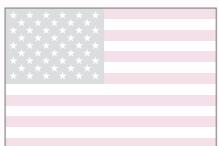
	1便	2便	3便	4便	5便
釜ヶ台発	7:00	8:55	12:40	15:40	17:20
下坂	7:03	8:58	12:43	15:43	17:23
冬師	7:05	9:00	12:45	15:45	17:25
上坂	7:07	9:02	12:47	15:47	17:27
桂坂	7:18	9:13	12:58	15:58	17:38
横森	7:20	9:15	13:00	16:00	17:40
下横森	7:21	9:15	13:00	16:00	17:40
畠野	7:23	9:18	13:02	16:02	17:42
畠	7:26	9:21	13:05	16:05	17:45
伊勢居地	7:28	9:23	13:06	16:06	17:46
小出小学校前	7:28	9:23	13:06	16:06	17:46
中野	7:29	9:24	13:07	16:07	17:47
三日市	7:31	-	-	16:08	-
院内小学校前	7:35	-	-	16:12	-
十文字	-	9:25	13:08	-	17:48
石田	-	9:26	13:09	-	17:49
田抓	-	9:27	13:10	-	17:49
仁賀保中学校前	7:39	9:28	13:11	16:16	17:50
杉山	7:40	9:29	13:12	16:17	17:51
ビフレ前	7:42	9:31	13:15	16:19	17:53
仁賀保駅前着	7:46	9:36	13:19	16:23	17:57
釜ヶ台着	8:42	12:33	15:33	17:13	19:46(18:53)

●日曜、祝日は運休 ●路線経路上ではフリー乗降制 ※釜ヶ台行き5便:冬期間の10~3月は( )

## ショウニー市交流20周年記念

### 市民訪問団が訪米

~米国の2姉妹都市と再調印~



姉妹都市交流20周年を記念した市民訪問団が、ショウニー市(米国オクラホマ州)を訪れました。

姉妹都市提携当時の旧友や懐かしい方々との思いがけない再会に驚きと感動を覚え、20年の歴史の重さを改めて感じました。新たな友人との交流が芽生えるなど、永久に続く交流と友情を約束してきました。



#### 市民訪問団ショウニー市へ



リンダ・ピーターソン  
ショウニー市長(左)

米国・姉妹都市を訪問して  
にかほ市長 横山 忠長

6月25日から7月4日までの日程で、米国オクラホマ州・ショウニー市とワシントン州・アナコートレス市の両都市を訪問しました。

ショウニー市は平成2年に仁賀保町と、アナコートレス市は平成8年に象潟町とそれぞれ「姉妹都市提携」を結び、中学生を中心とする交流が進められてきました。ことしは、ショウニー市との交流が始まって20周年を迎えることから、この機会に2市と改めて「姉妹都市提携」を結ぶために訪問しました。

訪問にあたっては両市の市長をはじめ、多くの市民の皆さんから歓迎を受け、さらに相互訪

問交流を通して友好と親善の輪を広げ、世界の平和と子どもたちの健やかな成長に貢献することなどを確認したところです。私はとってショウニー市は、初めての訪問でしたが、今回、両都市の市政運営の在り方や各種の施設を見学することが出来ました。そして、日本との違いに考えさせられる場面も多くありました。

例えば、ショウニー市での救急業務は民間の事業者が担い、その経営は、基本的には救急車を利用した方の負担で賄われていることです。また、アナコートレス市の高齢者福祉施設では、介助が必要な入所者は、入所者本人または家族が介助員を雇用して世話をすることになります。したがって施設の運営は少人数の職員体制で行い、それを入所経費に反映しています。

さらに公園の整備などについても、自分たちが利用する施設との考え方で、市民が企業や個人から寄付を募り、市民・自らの手で主張的に取り組んでおり、そうした取り組みを市民の皆さんが誇り“と思つてゐることが印象に残り、大変有意義な訪

問交流を通して友好と親善の輪を広げ、世界の平和と子どもたちの健やかな成長に貢献することなどを確認したところです。私はとってショウニー市は、初めての訪問でしたが、今回、両都市の市政運営の在り方や各種の施設を見学することが出来ました。そして、日本との違いに考えさせられる場面も多くありました。

また、アナコートレス市の高齢者福祉施設では、介助が必要な入所者は、入所者本人または家族が介助員を雇用して世話をすることになります。したがって施設の運営は少人数の職員体制で行い、それを入所経費に反映しています。

これまでにお世話になつた、たくさんの方々にお会いでき、心の中に一里塚を立てることができました。いつもながらの心温まる歓迎やパーティなどの一つ一つのものには、これまでの両市間の相互交流の成果を十二分に感じ取ることができたと思います。

市民訪問団 小場 文明



ディーン・マックスウェル  
アナコートレス市長(右)